

## 平成17年度大気汚染状況の測定結果について

### 1. 平成17年度大気汚染常時監視結果について

(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、一酸化炭素)

平成17年度は、一般環境(一般環境測定局)について高知市2、南国市2、須崎市2、いの町1の7測定局で、道路沿道(自動車排出ガス測定局)について高知市の2測定局で大気環境の測定(常時監視)を行いました。

一般環境測定局では、二酸化硫黄は5測定局、二酸化窒素は3測定局、浮遊粒子状物質は5測定局で測定し、全ての測定局で環境基準を達成していましたが、光化学オキシダントは測定した3測定局全てで非達成でした。

自動車排出ガス測定局では二酸化窒素、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質は各1測定局全てで環境基準を達成していました。

光化学オキシダントについては、本県で観察されるものは自然界に存在するオゾンに大陸と西日本の人間活動に由来するオゾンが加わったものであると推定しています。

全般的には、県内の大気環境は概ね良好でした。

### 2. 平成17年度有害大気汚染物質モニタリング調査結果について

平成17年度は、有害大気汚染物質の指定物質であるベンゼン等の優先取組物質19物質について、一般環境については高知市、南国市、須崎市、いの町の4ヶ所で、沿道については高知市の1ヶ所で測定しました。

そのうち、環境基準の設定されているベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン及び指針値の設定されているアクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀、ニッケル化合物については、全測定地点で環境基準及び指針値に適合していました。